

ご意見・ご要望		投稿日	平成26年4月10日
件名	高齢化が進む自治会活動と市政との連携について		
本文	<p>高齢化が進む自治会活動と市政との連携等について、「将来的なあり方」についてお考え頂きたいと思います。</p> <p>内容としては、持ち回りの行っている輪番（順番）制組長について、高齢を理由に各種行事（河川清掃、有価物回収・・・等々）等に対応出来ない為に組長を辞退する者が増えている現状を踏まえ、市政との間で効果的・実質的な自治会活動を推進する為の施策についてお考え頂きたいと思います。</p>		
回答		回答日	平成26年4月22日
担当部署	市民部 市民協働室 市民対話課		
本文	<p>自治会組織は、『同じ地域に住む方々が、お互い仲良く助け合って、豊かで住みよい地域社会を創っていこう』という考えから、地域住民の総意によって自主的に結成された任意団体であり、本市が推進する『市民との協働によるまちづくり』の重要なパートナーとしても協力・連携する中で、明るく住みよいまちづくりに取り組んでいます。</p> <p>このような中、自治会会員の高齢化は全国的にも同様な傾向にあり、組長などの役員については、会員の健康状況などを考慮する中で、免除しているケースもあるなど、各地域の実情に即した対応がみられます。いずれにしましても会員相互の理解のもと話し合いで、お決めいただくことが大切であると考えます。</p> <p>本市といたしましても、近年の核家族化の進行などにより自治会加入率が年々低下しておりますことから、自治会連合会とも協働し自治会加入促進を図り、加入率の向上を通して自治会の活性化を図るとともに、より効果的な自治会活動を推進する方策について検討してまいりたいと考えております。</p>		